

## 主な仕様

一般仕様		送信機	
周波数範囲	2,400～2,483.5MHz	使用電源	単三乾電池2本(+3.0VDC)/ニッケル水素充電地2本
使用周波数	2,402～2,480MHz	電源使用範囲	+2.4V～+3.0V
変調方式	GFSK	消費電力	100mW
空中線電力	10mW	使用時間	約15時間
占有周波数	4MHz	コネクタ	miniXLR 4pin
伝送距離	最大約50m※	保存温度	-10℃～+60℃
	※障害物などの影響で到達距離が短くなることがあります。	使用温度	0℃～50℃
		外形寸法	64.3(W)×90(H)21(D)mm ※突起物・アンテナ含まず
		質量	約80g ※電池含まず
		付属品	アンテナ

※本器の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

## 保証とアフターサービスについて

### ■保証書

所定事項記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。所定事項記入がない場合は販売店先およびお買い上げ年月日がわかるものと保証書を弊社までご郵送ください。

### ■保証期間

本製品をお買い上げいただいた日から1年間です。

### ■保証規定

◇保証期間内に正常な使用方法でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障があった場合は、無償修理または本体部の交換をさせていただきます。その際は、当社の判断で再生部品を用いる場合がございます。本製品と保証書をお買い上げの販売店様にご持参または弊社にご連絡いただき修理をご依頼ください。

◇次の場合は保証期間内でも有償修理となります。

- ①保証書をご提示いただけない場合。
- ②所定の項目をご記入いただけていない場合、または改ざんされている場合。
- ③故障の原因が取り扱い上の不注意による原因の場合。
- ④故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
- ⑤天変地異、ならびに公害や異常電圧、その他の外部要因による場合。

◇次の場合は保証期間内でも修理をお受けいたしかねます。

- ①お客様による改造または修理があったと判断された場合。

◇修理の対象商品を直接メーカーへ送付する場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、ご持参される場合の諸経費もお客様のご負担となります。

◇保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

◇保証書は日本国内においてのみ有効です。

お客様	ご住所	〒 電話	機種名	
	お名前		RG2401SV	
	保証期間	一年	お買い上げ	

## RG2401SV

### デジタルワイヤレスガイドシステム送信機

## 取扱説明書

### 安全上のご注意

必ずお守りください。

下記の内容は人への危害、財産の損害を防止するため必ずお守りください。誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を区分して説明しています。

- 人体に直接または間接的にかかわるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では使用しないでください。
- 飛行機の通信システムを妨害する恐れがありますので、飛行機内で使用しないでください。
- ご使用にならないときは電源を切り安全に保管してください。1週間以上使用しない場合は、送信機内の乾電池を取り外してください。
- 窓際など直射日光にあたる場所、暖房器具の近くなど高温になる場所、調理台や加湿器の近く、お風呂場では使用しないでください。
- 乾電池の+（プラス）と-（マイナス）の向きを正しくセットしてください。また、古い乾電池と新しい乾電池、種類の違う乾電池を混在させて使用しないでください。
- イヤホンマイクやヘッドホンマイクを接続する際は種類、向きを確認して真っ直ぐ抜き差しをしてください。コネクタの形状が異なるイヤホンマイクやヘッドホンマイクは使用できません。無理に接続しないでください。
- 本製品とイヤホンマイクやヘッドホンマイクを接続する際、コネクタ部分にゴミやホコリ、異物などが付着していないことを確認してから接続してください。
- 接続したイヤホンマイクやヘッドホンマイクを抜くときは、引っ張らずにコネクタの黒いボタンを押しながら抜いてください。また、イヤホンマイクなどのケーブルを釘などでの固定や束ねたままでの使用はしないでください。断線や過熱による火災など、故障や事故の原因となります。
- お手入れの際は接続したイヤホンマイクやヘッドホンマイクを外してから、清潔なやわらかい布などをご使用ください。

### 安全にご使用いただくために

- 本製品は安全に配慮して製造されていますが、誤った使い方をすると、人身事故または物的損害を引き起こす原因となり大変危険です。ご使用前には「安全上のご注意」を必ずお読みになり、記載事項を守って安全に正しくご使用ください。また、故障したり異常が発生した場合は、絶対にご使用にならずに販売店様または弊社までご連絡ください。
- ご使用の際は、音量に注意してご使用ください。突然大きな音がすると、聴力を損う恐れがあります。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪影響を与える恐れがあります。
- 加熱したり火にさらしたりしないでください。破裂や発火の原因となります。
- 水や液体を避けてください。濡れた場合は使用しないでください。また濡れた手で本製品をご使用、または各種イヤホンマイク・乾電池の抜き差しをしないでください。感電の原因となりますので、絶対にお止めください。
- 直射日光や湿気、静電気や磁気などを避け、極端な温度状況下での保管や使用は避けてください。
- 分解や改造、接続部に異物や金属などを差し込まないでください。また本製品を投げる、衝撃を与える、強く引っ張る、圧迫するなど乱暴に扱わないでください。
- 本製品が傷ついたり破損した場合、また経年劣化による変質、機能低下などの現象を感じたときは、直ちに使用を中止してください。それらに起因する故障やトラブルに関して当社は一切の責任を負いません。
- 本製品をご使用中に異臭がしたり、煙がでたり、変形した場合には直ちにご使用を中止してください。火事や感電の原因となる恐れがあります。
- 本製品はワイヤレス信号装置ですので、ペースメーカーをご使用されている場合は、医師に相談してください。
- 乳幼児には使用させないでください。お子様がお使いになる場合は、保護者の方が正しい使い方をご指導ください。

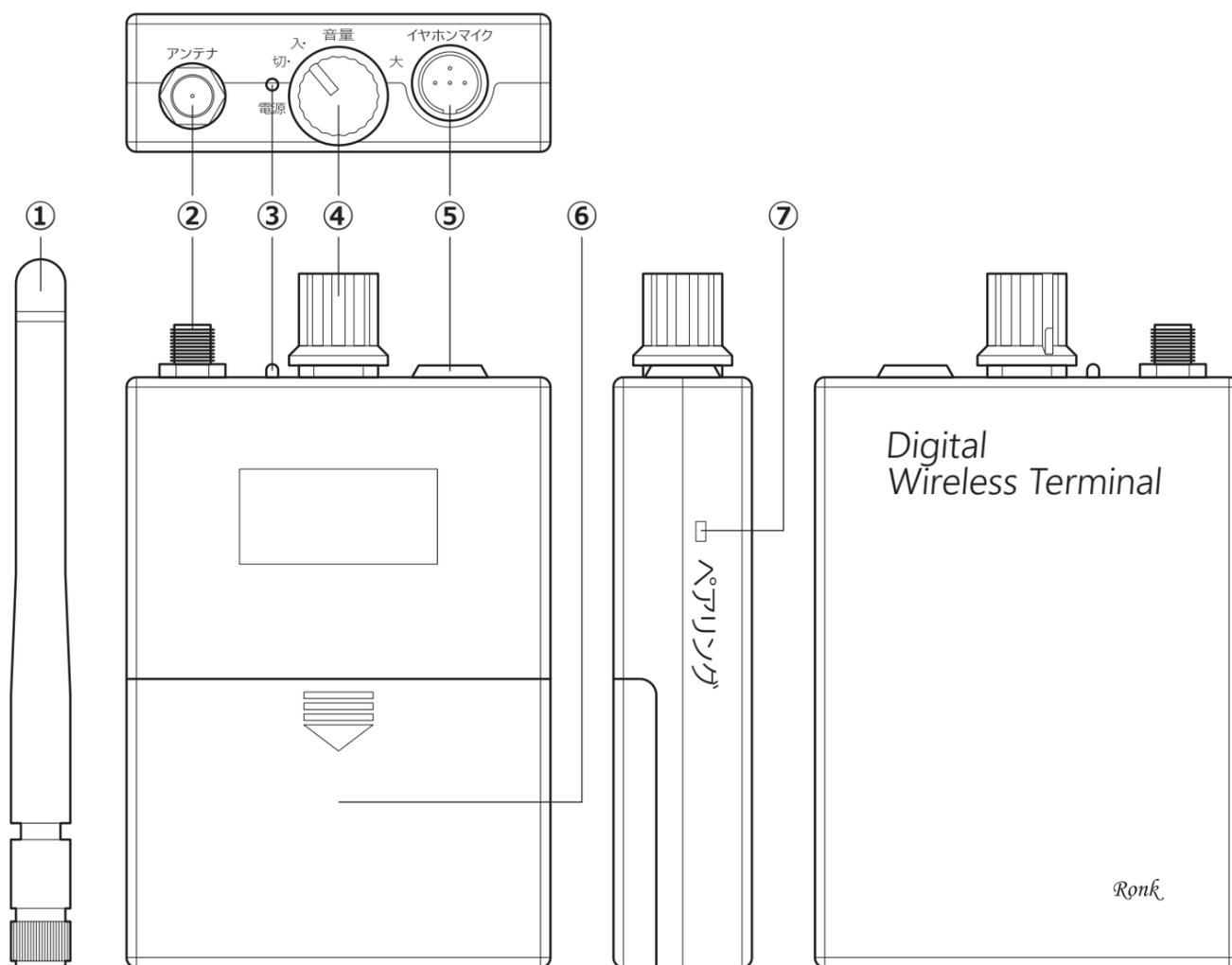
### 電波に関するご注意

- 本製品は、電波法および電気通信事業法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術適合証明を受けています。従って本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし「本製品を分解・改造する」「本製品に貼ってある証明ラベルをはがす」ことを行なうと法律で罰せられることがあります。
- 本製品は2.4GHz周波数帯域を使用しますので、同じ2.4GHz帯の電波を使用する機器の影響によって、音が途切れたりノイズが出る場合があります。また本製品からも他の機器に影響を与える可能性がありますので、電波干渉を防止するために、以下の事項に注意してご使用ください。

本製品の使用する周波数帯域では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要するもの）、特定小電力無線局（免許を要しないもの）およびアマチュア無線局（免許を要するもの）が運用されています。本製品を使用する前に近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。万一、本製品と他の無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変更するか、本製品の使用を中止してください。

- WiFiルーター・Bluetooth・コードレス電話・ワイヤレスキーボードやマウス・電子レンジ等の近くで本製品を使用した場合、ETC装置やトラック等で使用される無線機器の影響を受けやすい高速道路や国道の近く、空港や自衛隊施設等のレーダー・各種交換機の影響等で近くにお住いの方は、電波障害を受け正常に動作しない可能性があります。

## 各部の名称



①アンテナ(付属品)	②SMAアンテナ端子										
③LED(ON/OFF・通信状況・マイクミュート状態) 消灯:電源OFF 赤点灯:電源ON 緑点灯:マイク消音	④電源スイッチ/マイク音量調整										
⑥電池ボックス(※ロータリースイッチ)	⑤miniXLR 4pin端子 イヤホンマイク <table border="1"><thead><tr><th>pin番号</th><th>接続先</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td>Line out</td></tr><tr><td>2</td><td>グラウンド</td></tr><tr><td>3</td><td>Line in</td></tr><tr><td>4</td><td>同時シンク</td></tr></tbody></table>	pin番号	接続先	1	Line out	2	グラウンド	3	Line in	4	同時シンク
pin番号	接続先										
1	Line out										
2	グラウンド										
3	Line in										
4	同時シンク										
	⑦本製品では使用しないスイッチ										

## 操作方法

①送信機裏面の電池ボックス内部にあるロータリースイッチで、グループ設定を行います。  
※グループ設定については、下記「設定方法」を参照してください。

②乾電池2本を、極性(プラス/マイナス)に注意して、電池ボックスに装着します。  
※乾電池は、アルカリ乾電池・マンガン乾電池・ニッケル水素充電電池(エボルタなど)が使用できます。  
※ヘッドホンから警報音が聞こえる場合は、乾電池を交換してください。

③付属されているアンテナを、送信機のSMA端子に取り付けます。

④オプション品で用意しているヘッドホンマイクやイヤホンマイクを送信機のminiXLR 4pin端子に、差し込む向きに注意して接続します。

⑤電源スイッチをONにすると、LEDが赤く点灯します。

※オプション品で用意しているヘッドホンマイクやイヤホンマイクのスイッチを押すと、マイクがミュート状態になり、送信機のLEDが緑に点灯します。  
再度、イヤホンマイクのスイッチを押すと、マイクのミュートが解除され、送信機のLEDが赤く点灯します。  
マイクをミュート状態にすることで、送信者の音声を受信者に届かず、無用な音声が届きません。

## 設定方法

◇乾電池ボックス内部にあるロータリースイッチを使用することで、グループ設定を行うことができます。

◇ロータリースイッチの切り替えは、細いマイナスドライバーなどを使用して、設定したい番号に合わせて回転させてください。  
※他の2.4GHz機器と電波干渉する場合、ロータリースイッチの番号を変更することで、電波干渉を回避・軽減することがあります。

ロータリースイッチ	グループ設定	ロータリースイッチ	グループ設定	ロータリースイッチ	グループ設定
0	グループ0	4	グループ4	8	グループ8
1	グループ1	5	グループ5	9	グループ9
2	グループ2	6	グループ6	A~F	グループ9
3	グループ3	7	グループ7		

※同じ場所で複数のワイヤレスガイドシステムを使用する場合、送信機のグループ設定は隣同士の番号でなく、なるべく離れた番号でグループ設定を行ってください。  
例えば送信機が2台の場合は「0」と「5」など、3台の場合は「0」「3」「6」など、はなれた番号でグループ設定を行ってください。  
又、同じ番号でグループ設定した送信機が2台以上あると、通信ができないためご注意ください。